



庄原ブランド米が大躍進！

米のコンクール・コンテストの受賞者が木山市長を表敬訪問・12/26

世界最大の米コンクール「第25回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」が新潟県で開催され、「都道府県・海外地域代表 お米選手権」部門で、協同組合庄原里山の夢ファーム（以下、里山の夢ファーム）農事組合法人殿垣内（殿垣内町）が出品した「里山の夢 あきさかり」が金賞を受賞しました。

また、大阪府で開催された「第13回大阪府民のいっちゃんうまい米コンテスト」で、西城町美味しい米づくり研究会（西城町）と、里山の夢ファームの花房豊さん（本郷町）、三田政樹さん（本郷町）の「あきさかり」3点が入賞しました。この受賞報告として、関係者の皆さんが木山耕三市長を表敬訪問しました。

木山市長は受賞者に「庄原産のお米の素晴らしさを改めて実感できてうれしく思います」と喜びの言葉を送りました。

本市には「里山の夢 あきさかり」をはじめ、特色のある栽培方法で育てられた、たくさんの「庄原ブランド米」があります。この度の受賞により、本市が高品質でおいしい米の産地であることが全国にPRされました。これを機に、皆さんもおいしさにこだわった「庄原ブランド米」を食べ比べてみてはいかがでしょうか。

■第25回米・食味分析鑑定コンクール国際大会

食味や味度（飯粒表面の保水膜の量）を審査するため、米の“味”をとことん追求した方法で評価される世界最大の米コンクール。

■金賞を受賞した庄原ブランド米「里山の夢あきさかり」

土づくりで重要となる土着菌の発生を増進させるため、竹粉の肥料を活用して作られた米。栽培した米のほとんどの品種で、食味値*が80点以上となっている。その他にも、消費者へ安全・安心な米を提供するために、農薬や化学肥料の使用を慣行栽培（一般的な使用量）の50%以下に抑えた、環境にやさしい持続可能な生産に取り組んでいる。

*食味値…米に含まれる水分やタンパク質などの成分を測定し、点数化されたもの。100点満点で評価され、点数が高いほどおいしい米とされる。



左から木山市長、西城町美味しい米づくり研究会の荒木勲副会長、里山の夢ファームの市川基矩理事長、松田一馬理事、花房さん、三橋豊理事

裏表紙に出張！
市政トピックス

SHISEI Topics

危機
管理課

安心・安全を守るために団結

令和6年消防出初式



新人団員を代表して三通田さんが宣誓

1月14日、庄原中学校グラウンドで4年ぶりに庄原市消防出初式を挙行し、来賓各位の出席のもと、庄原市消防団員、備北地区消防組合職員約600人が参加しました。

式典では、退団者への感謝状や現役団員の永年の功績者への表彰状を贈呈したほか、火災の初期消火などに協力した人に感謝状を贈呈しました。

また、新入団員などへの辞令交付を行い、新入団員を代表し、総領方面隊の三通田慶彦さんが「消防団員として、市民の信頼に応えることを誓います」と力強く宣誓しました。

庄原市消防団の瀧口亮団長は「いつ、どこで起こるか予測できない自然災害や火災から、市民の命や財産、安心・安全な生活を守るためには、常日頃から技術の練磨、消防精神の高揚に努めなければならぬ」と訓示しました。

出初式を通じて、市民の安心・安全を守っていく使命に対し、決意を新たにする一日となりました。